

F-029

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-345273

(43)公開日 平成11年(1999)12月14日

(51)Int.Cl.
G 0 6 F 19/00
G 0 7 C 15/00

識別記号

F I
G 0 6 F 15/28
G 0 7 C 15/00

Z
A

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全5頁)

(21)出願番号 特願平10-152354

(22)出願日 平成10年(1998)6月2日

(71)出願人 000002897
大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72)発明者 石松 橙

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

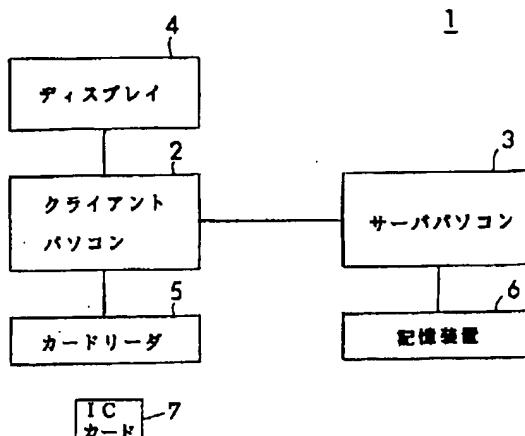
(74)代理人 弁理士 佐野 静夫

(54)【発明の名称】 福引きシステム

(57)【要約】

【課題】 繰り返し訪れる顧客に有利な福引きシステムを提供する。

【解決手段】 購入金額に応じたデータと個人識別データが記録されるカード状記録媒体7と、カード状記録媒体7に記録されたデータを読み取るカードリーダ5と、カードリーダ5が読み取ったデータに基づいて福引きを作成する制御手段2、3と、福引きの抽選履歴を個人識別データに基づいて記憶する記憶手段6とを備え、制御手段2、3が、福引きを作成する際に個人識別データに基づいて記憶手段6から抽選履歴を読み込み、この抽選履歴に基づいて福引きの当選確率を設定するようにしたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 購入金額に応じたデータと個人識別データが記録されるカード状記録媒体と、前記カード状記録媒体に記録されたデータを読み取るカードリーダと、前記カードリーダが読み取ったデータに基づいて福引きを作成する制御手段と、前記福引きの抽選履歴を前記個人識別データに基づいて記憶する記憶手段とを備え、前記制御手段が、前記福引きを作成する際に前記個人識別データに基づいて前記記憶手段から抽選履歴を読み込み、この抽選履歴に基づいて前記福引きの当選確率を設定するようにしたことを特徴とする福引きシステム。

【請求項2】 購入金額に応じたデータが記録されるカード状記録媒体と、前記カード状記録媒体に記録されたデータを読み取るカードリーダと、前記カードリーダが読み取ったデータに基づいて福引きを作成するとともに、該福引きの抽選履歴を前記カード状記録媒体に記録する制御手段とを備え、前記制御手段が、前記福引きを作成する際に前記抽選履歴に基づいて当選確率を設定するようにしたことを特徴とする福引きシステム。

【請求項3】 前記カード状記録媒体が可視情報を繰り返し記録し消去可能なものであることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の福引きシステム。

【請求項4】 前記カードリーダが前記カード状記録媒体に可視情報を記録し消去する手段を有することを特徴とする請求項3に記載の福引きシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商店街や大型販売店等で使用される福引きシステムに関し、更に詳しくは、コンピュータを利用して過去の抽選結果を当選確率に反映させるようにした福引きシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】周知のように商店街や販売店等では、歳末等の売り出し時において、売り上げ増加を図るために福引きが行われることが多い。従来より一般的に行われている福引きは、顧客に購入金額に応じて抽選券や所定枚数で抽選可能となる抽選補助券を渡し、顧客が抽選会場で抽選券や所定枚数の抽選補助券を係員に渡し、内部に多数の小球が収納されたドラムを抽選回数だけ回転させてドラムの周壁に設けられた開口部から一回転毎に小球を一個ずつ取り出し、この小球の色で当選か否かを判定するようしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述したような従来の福引きでは、購入金額が大きいほど当選確率が高くなるようになっているのみで、公団住宅のくじ引きのように過去の落選回数が多くなるほど当選確率が高くなるようになっていないため、当選のための条件が全ての顧客に対して同一で、地元客等の繰り返し訪れる顧客を優遇す

ることができないという問題点が有った。

【0004】本発明は上述した問題点を解決するためになされたものであって、その目的は、繰り返し訪れる顧客に有利な福引きシステムを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述した目的を達成するために、請求項1の福引きシステムは、購入金額に応じたデータと個人識別データが記録されるカード状記録媒体と、前記カード状記録媒体に記録されたデータを読み取るカードリーダと、前記カードリーダが読み取ったデータに基づいて福引きを作成する制御手段と、前記福引きの抽選履歴を前記個人識別データに基づいて記憶する記憶手段とを備え、前記制御手段が、前記福引きを作成する際に前記個人識別データに基づいて前記記憶手段から抽選履歴を読み込み、この抽選履歴に基づいて前記福引きの当選確率を設定するようにしたことを特徴とするものである。

【0006】また、請求項2の福引きシステムは、購入金額に応じたデータが記録されるカード状記録媒体と、前記カード状記録媒体に記録されたデータを読み取るカードリーダと、前記カードリーダが読み取ったデータに基づいて福引きを作成するとともに、該福引きの抽選履歴を前記カード状記録媒体に記録する制御手段とを備え、前記制御手段が、前記福引きを作成する際に前記カード状記録媒体に記録された抽選履歴に基づいて当選確率を設定するようにしたことを特徴とする。

【0007】また、請求項3の福引きシステムは、請求項1または請求項2の福引きシステムにおいて、前記カード状記録媒体が可視情報を繰り返し記録し消去可能なものであることを特徴とするものである。

【0008】また、請求項4の福引きシステムは、請求項3の福引きシステムにおいて、前記カードリーダが前記カード状記録媒体に可視情報を記録し消去する手段を有することを特徴とするものである。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、本発明の具体的な実施形態を図面を参照しながら説明する。図1は本発明の一実施形態である福引きシステム1の構成図、図2は図1の福引きシステム1に使用されるICカード7の平面図、図3は図1の福引きシステム1による福引き作成の手順を示すフローチャート、図4は図1の福引きシステム1のディスプレイ4の画面の表示例を示す図、図5～図7は確率データ作成用のテーブルの一例を示す図である。

【0010】本実施形態の福引きシステム1は、ある商店街で買い物をした顧客を対象に行われる福引きを実施するためのものであって、図1に示すように、抽選会場に設置される制御用のクライアントパソコン2と、抽選会場の外に設置されクライアントパソコン2に接続された顧客データベース保管用のサーバパソコン3とを備えている。クライアントパソコン2には液晶等のディス

レイ4とカードリーダ5が接続され、サーバパソコン3にはハードディスク装置等の記憶装置6が接続されている。

【0011】カードリーダ5に挿入されるICカード7は、商店街で買い物をする各顧客に要望に応じて渡されるものであって、表面にデータ授受用の接点8とサーマルリライト方式の表示素子9とを有している。ICカード7に内蔵されたICチップには、顧客の識別番号、氏名、住所、生年月日、性別等の個人データの他に、購入金額に応じたポイントが購入日時とともに記録され、表示素子9にはこれまでに獲得したポイントの累計値が表示される。

【0012】即ち、顧客が買い物をすると、ICカード7がレジスターに接続されたカードリーダ・ライタに挿入され、カードリーダ・ライタによってICカード7に記録されたデータが読み込まれる。そして、購入金額に応じたポイントが計算され、顧客がこれまでに獲得した全ポイントの累計値と次の福引きで使用可能なポイントの累計値が計算され、これらが表示素子9に記録されるとともに、今回のポイントが購入日時とともにICチップに記録される。

【0013】記憶装置6には、顧客の個人データの集合である顧客データベースが顧客の識別番号に基づいて格納される。この顧客データベースには、顧客の氏名、住所、生年月日、性別等の個人データの他に、顧客が行った福引きの抽選履歴が含まれている。抽選履歴のデータ内容は、抽選日時、抽選結果、抽選に使用されたポイント数等である。

【0014】次に、上記の福引きシステム1によって福引きを作成する手順を図3を参照しつつ説明する。顧客がICカード7をカードリーダ5に挿入すると(ステップ#10)、ICカード7に記録されたデータが読み込まれ、顧客の識別番号と今回の福引きで使用可能なポイントがサーバパソコン3に送信される(ステップ#20)。

【0015】サーバパソコン3は、送信してきた顧客の識別番号に基づいて記憶装置6から顧客データベースを読み込み(ステップ#30)、この中に抽選履歴が含まれているか調べ(ステップ#40)、含まれている場合には、落選回数、当選日時等に基づいて加算ポイントを算出する(ステップ#50)。そして、今回の福引きで使用可能なポイントの累計値とこの加算ポイントの和を算出する。なお、ステップ#40で抽選履歴が存在しない場合には、今回の福引きで使用可能なポイントの累計値のみを算出する(ステップ#60)。

【0016】次に、サーバパソコン3は、得られた累計ポイントから、所定の基準にしたがって、当選確率を設定するためのデータを作成する。即ち、本実施形態の福引きは、図4に示すように、マトリックス状に配列された多数のマス目の中から二個のマス目を選択し、その裏

に隠された当選番号が一致した場合に当選となるようにしたものであるが、図5のテーブルに示すように、獲得ポイント数が多くなるほど当選本数が多くなるようにする、図6のテーブルに示すように、獲得ポイント数が多くなるほど選択するマス目の数が少なくなる(当選本数は不变)ようにする、あるいは図7のテーブルに示すように、獲得ポイント数が多くなるほど抽選回数が多くなる(当選本数は不变)ようにする、等の基準にしたがって、当選確率を設定するためのデータを作成する(ステップ#70)。

【0017】上述したように、ステップ#50において、過去に当選経験が無かったり、落選が長く続いたりしている顧客の場合には、ポイントが加算されるので、当選確率が高くなる。したがって、繰り返し訪れる顧客にとって有利である。そして、サーバパソコン3は、ステップ#70で得られたデータをクライアントパソコン2に送信し(ステップ#80)、クライアントパソコン2は送信されてきたデータにしたがって福引き用の画面を作成し(ステップ#90)、図4に示すようにディスプレイ4に表示する(ステップ#100)。

【0018】顧客は表示された福引き画面によって抽選を行う。即ち、ディスプレイ4上に表示されたマトリックス状のマス目の中から二個のマス目を選んでタッチする。選択された二個のマス目の裏にそれぞれ当選番号が存在していて、かつこれらが互いに一致した場合には当選となり、ディスプレイ4上にその旨が表示される。抽選が終了すると、ディスプレイ4に表示されたマス目が消去されて初期画面に戻る。

【0019】そして、抽選結果、抽選日時、抽選に使用したポイント数等がサーバパソコン3に送信され、記憶装置6に格納される。また、ICカード7の表示素子9の抽選ポイントの欄に表示したポイントが消去され、このポイントから抽選に使用したポイントを減算したポイントが表示素子9の抽選ポイントの欄に書き込まれ、ICカード7がカードリーダ5から排出される。

【0020】なお、本発明は上述した実施形態に限定されるものではなく、種々の変更が可能である。例えば、上述した実施形態では、抽選履歴を記憶装置にて管理し、記憶装置に接続されたコンピュータで抽選履歴を呼び出し、加算ポイントの算出、抽選に使用可能な累計ポイントの算出を行なうようにしているが、抽選履歴をカード状記録媒体に記録し、ポイント(加算ポイント及び抽選に使用可能な累計ポイント)をカードリーダに接続されたコンピュータで計算するようにしてもよい。この場合、記憶装置やこれに接続されたコンピュータが不要となるためコストが低減する。

【0021】また、上述した実施形態では、コンピュータに外付けされた記憶装置で抽選履歴を管理するようにしているが、コンピュータ内蔵の記憶装置やメモリで抽選履歴を管理するようにしてもよい。

【0022】また、上述した実施形態では、過去に当選経験が無かったり、落選が長く続いたりしている顧客の当選確率が高くなるようにしているが、過去に当選した顧客の当選確率が低くなるようにしたり、1等に当選した顧客は再び所定期間1等が出ないようにする等によって、顧客間の平等を図るようにしても良い。

【0023】また、カード状記録媒体として、磁気カードを使用しても良い。さらに、カード状記録媒体の表示素子として、記録状態及び消去状態相互間における表示状態の変更について一方への変更は電界の作用により行われ、他方への変更は熱の作用により行われるものを使用しても良い。このような表示素子の具体例としては、例えば、高分子中に分散保持された液晶の配合状態を熱及び電界の作用によって変更可能な液晶／高分子複合膜（PDL C膜）によって形成されたものを挙げることができる。

【0024】

【発明の効果】以上説明したように本発明の福引きシステムは、過去の抽選結果に基づいて福引きの当選確率を設定するようにしたことにより、繰り返し訪れる顧客にとって有利となるため、顧客の確保と売り上げ増加を図ることができるという効果を奏する。

【0025】また、請求項3、4の福引きシステムは、カード状記録媒体に抽選ポイント、有効期間等を表示す

ることにより、顧客の購買意欲を刺激し、さらに売り上げ増加を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施形態である福引きシステム1の構成図。

【図2】 図1の福引きシステム1に使用されるICカード7の平面図。

【図3】 図1の福引きシステム1の福引き作成の手順を示すフローチャート。

【図4】 図1の福引きシステム1のディスプレイ4の画面の表示例を示す図。

【図5】 確率データ作成用のテーブルの一例を示す図。

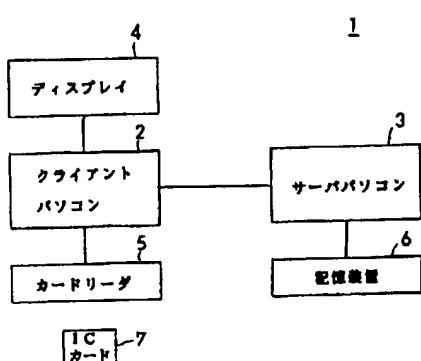
【図6】 確率データ作成用のテーブルの一例を示す図。

【図7】 確率データ作成用のテーブルの一例を示す図。

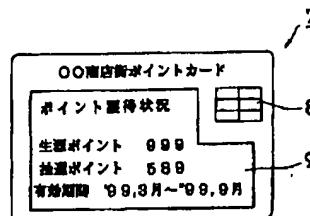
【符号の説明】

- 1 福引きシステム
- 2 クライアントパソコン（制御手段）
- 3 サーバパソコン（制御手段）
- 4 ディスプレイ
- 5 カードリーダ
- 6 記憶装置
- 7 ICカード

【図1】



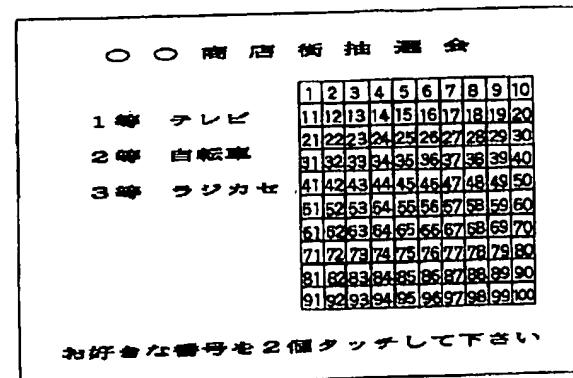
【図2】



【図6】

獲得ポイント	選択数
0~50	100 (10行10列)
51~100	81 (9行9列)
101~150	64 (8行8列)
151~200	49 (7行7列)
- - -	- - -

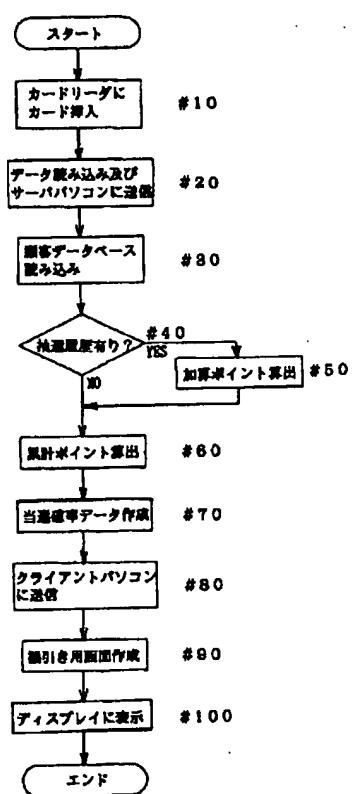
【図4】



【図5】

獲得ポイント			
0~50	51~100	101~150	- - -
1等の数	1	2	4
2等の数	4	8	16
3等の数	8	16	32

【図3】



【図7】

獲得ポイント	抽選回数
0~50	1
51~100	2
101~150	3
151~200	4
- - -	- - -